



アイバンクは皆さんの善意で支えられています

# アイ愛



東北大学アイバンクだより

2008 Vol.1

## 「アイ愛」INDEX

- 眼科・学/久保田 享(東北大学アイバンク理事)
- 特集・アイ愛インタビュー/  
西田 幸二(東北大学アイバンク理事長)  
×  
菅原 ゆうこさん(フリーアナウンサー)
- わたしとアイバンク/青木 恵一さん
- 第8回東北大学アイバンク慰霊祭

「財団法人東北大学アイバンクだより」は、みなさまに親しんでいただくため愛称を「アイ愛」と名付け、「瞳と愛をあなたからあなたへ届けたい」という思いを込めています。

(財)東北大学アイバンクだより「アイ愛」vol.1  
●発行日/平成20年12月20日 ●発行/財団法人東北大学アイバンク 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学医学部眼科学教室内 TEL/022-728-3677 FAX/022-717-7298 (財)東北大学アイバンクは、アイバンクの普及拡大を目的に制作発行しています。

# あなたの勇気と行動で 光を取り戻す人がいます

角膜が  
不足しています!  
アイバンクへ  
のご登録を!

「財団法人東北大学アイバンク」は、病气やケガで視力を失った方々に、新しい角膜を提供するためのお世話をし、光を取り戻すお手伝いをする機関です。  
現在、宮城県ではアイバンクの登録者数が不足し、深刻な状況に陥っています。  
県民の皆様にはアイバンクの活動にご理解いただき、視力を失った人でも多くの方に希望の光をお届けするため、ぜひご登録をお願い申し上げます。



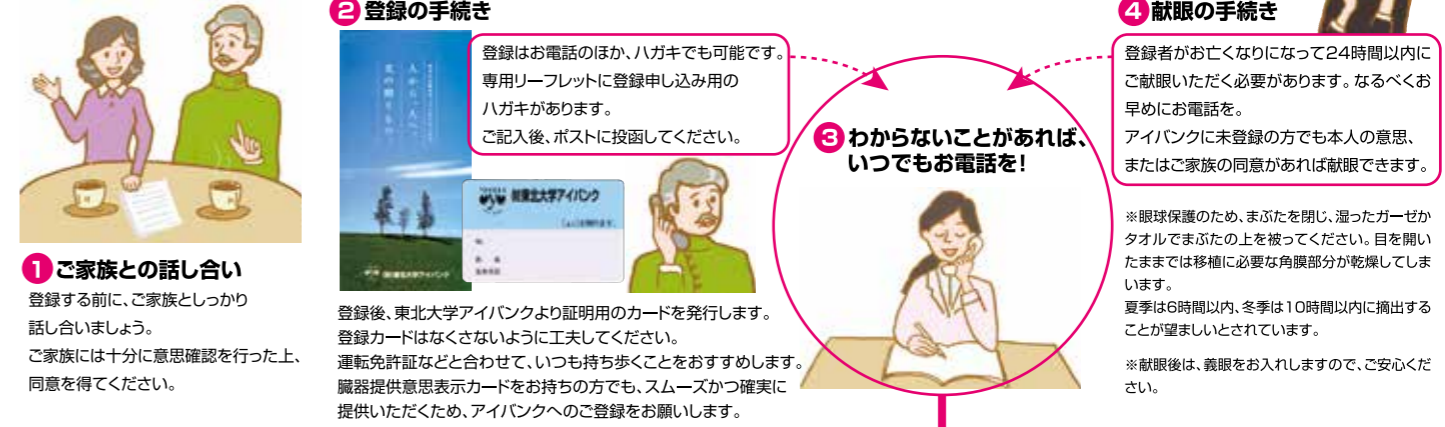
### 特集 ● アイ愛インタビュー

# 「アイバンク」って、 どんなところですか?

## 光を失った方に、光を取り戻してほしい

その願いを実現するために誕生したのが「アイバンク」です。  
国内で光を待ち望む人は、およそ4千人〜5千人。潜在する待機者の数は2万人に及ぶとも言われ、特に宮城県では光を取り戻すために必要な「角膜」が不足し、深刻な状況です。  
宮城県におけるアイバンクの拠点「東北大学アイバンク」では、一人でも多くの人々に光を取り戻してほしいと積極的な活動を展開しています。

## 献眼登録・献眼の手続きについて



アイバンクは皆さんの善意で支えられています

**TOHOKU eye EYE BANK 財団法人東北大学アイバンク** 東北大学アイバンク 24時間ホットライン **022-728-3677**

24時間夜間休日でもOK!

仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学医学部眼科学教室内

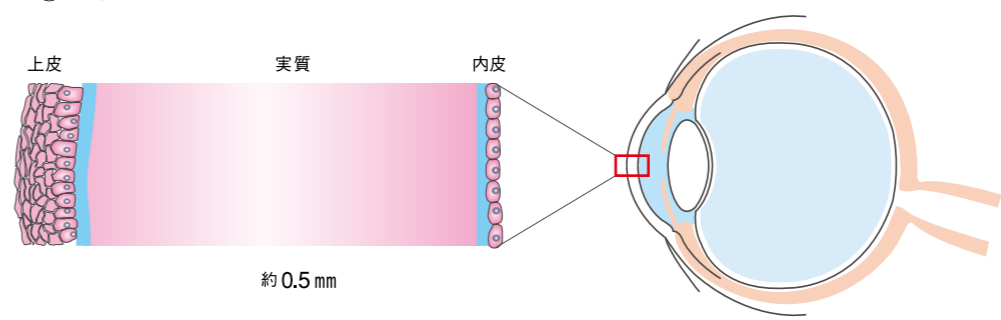
★東北大学アイバンクが発行する各リーフレットは、協力病院・協力医院に設置のほか、ご希望の方には発送も行っております。お気軽にお問い合わせください。  
★角膜提供以外に関するお問い合わせは9:00~17:00までお願いいたします。

# 知っておきたい

# 「角膜」のこと「角膜移植」のこと

日進月歩の眼科医療。東北大学アイバンク西田幸二理事長が中心となって研究が進められている「角膜の再生医療」をはじめ、その技術発展には注目が集まっています。今回、東北大学アイバンクの久保田享理事が、角膜の病例、その治療法の進歩について報告します。

図① 角膜とは



## 「角膜」とは？ その特徴と病例

角膜は、眼球の最も前面にあるドーム状の透明な膜です。厚さは中央部で約0.5ミリ、直径は11〜12ミリで、眼球内への光の入り口であると同時に入った光を屈折させるという重要な役割を果たしています。したがって、ごくわずかな変形や混濁が視力には非常に大きく影響してしまいます。

角膜は眼の表面から大きく分けると「角膜上皮」「角膜実質」「角膜内皮」の3つの層から成り立っています(図①)。

「角膜上皮」は厚さは約0.5ミリメートルで、1〜2週間のサイクルで細胞が入れ代わります。

「角膜実質」は、角膜の厚さの90パーセントを占める部分で、コラーゲンの密な層でできています。

「角膜内皮」は、角膜の一番後ろ側にあり、健康な内皮は蜂の巣のような、六角形の内皮細胞がびっしりとつまっています。実質側の水分調節をするポンプの役割を果たし、内皮が異常をきたすと角膜が膨張して、白くかすんでしまいます。

角膜上皮の場合は、傷害を受けてもすぐに再生しますが、傷害が上皮より深い部分に達すると、傷が治っても混濁が残ってしまいます。また、角膜の最も内側にある内皮細胞は、角膜から水分を排泄するポンプ機能があります。そのため、この層に傷がつくと、角膜から水分をくみ出せなくなってしまう、角膜に水分がたまって厚くなり、白く濁ってきます。

角膜内皮の細胞は、年齢とともに数が少なくなり、その機能も低下します。また、いらたん傷がつくと再生することはありません。

角膜が混濁すると、光を通しにくくなり視力に影響が出ます。

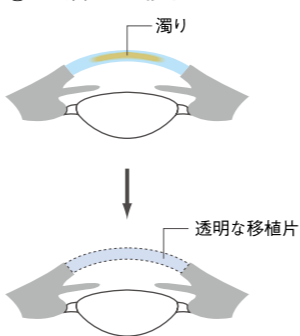
## 角膜移植の歴史と 代表的な移植法

角膜の病気で視力が下がっておられる方には、軽い場合には目薬で治療しますが、進行してくると「角膜移植」が必要になってきます。

角膜移植とは、混濁した角膜を取り除いて、別の角膜と取り替える手術のことです。お亡くなりになった方から眼球を提供していただいて、光を失った方へ角膜を移植するというもので、始められてからすでに約100年が経ちます。

前述の通り、角膜は上皮・実質・内皮という3つの部分に分けられますが、どの部分が傷害を受けても角膜が濁って視力が下がって

図② 全層角膜移植



しまいます。上皮・実質・内皮の3層すべてを入れ替える全層角膜移植は角膜移植の代表的な手術の方法であり、最も長く行われている手術の方法です(図②)。

また、濁っている角膜実質と角膜上皮だけを入れ替える手術には、表層角膜移植術、あるいは深層角膜移植術と呼ばれる方法があります。(図③)。これは感染症や外傷、遺伝性疾患、腫瘍によって角膜実質が濁っている場合に行われます。

## 開発めざましい さまざまな手術方法

近年は、表層角膜移植術や深層角膜移植術のように、表面に近い上皮と実質のみを入れ替えるような手術方法が開発されました。

これまでは全層角膜移植術のように、実質や内皮のみの傷害であっても、上皮から内皮までのすべての層を入れ替える方法しかありませんでしたが、右記の手術方法を用いれば実質の混濁だけの方には入れ替える部分が少ない拒絶反応などのリスクも軽減させることができます。

内皮のみが傷害を受ける病気は患者さんの数も多かったのですが、内皮のみを入れ替える手術の方法は大変難しく、なかなか実現されずにいました。

しかし、最近になって黒目のふちに5ミリ程度のキズを開けるだけで、痛んだ内皮を取

り出して、提供していただいた健康な角膜内皮を補う手術方法が開発されました。

Descemet's Stripping Automated Endothelial Keratoplasty(略して「DSAEK」(ディーセック)と言われる角膜内皮移植の手術方法です(図④)。

## 期待高まる新・移植法 「DSAEK」

DSAEKは、健康な角膜内皮を眼の中に入れた後、空気でくっつけるため縫う必要がありません。これまでの角膜移植では人間の手で縫うために、どうしても角膜にひずみが生じてしまつて、光が2つに見えたり、またはにじんだりする症状が、手術後に問題となっていました。

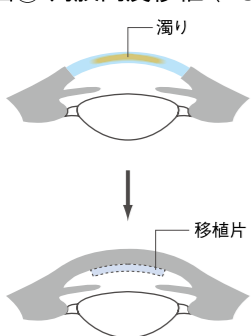
これに対してDSAEKは縫う必要がなく、大部分の自分の角膜を残すことができるので、ひずみが非常に少なく手術後の見え方が大幅に改善されることが分かってきました。もちろん、内皮のみの移植ですので、拒絶反応のリスクも従来の角膜移植方法に比べて少なくなるのが期待できます。全層角膜移植を受けるしかなかった患者さんが、この手術を受けられて、これまでにない喜びの声を聞くことができるようになりました。

現在、DSAEKの手術を受けられる方は、角膜内皮の病気をもちの方に限られませんが、まず眼科医による診察を受けていただく必要があります。また、まだまだ新しい

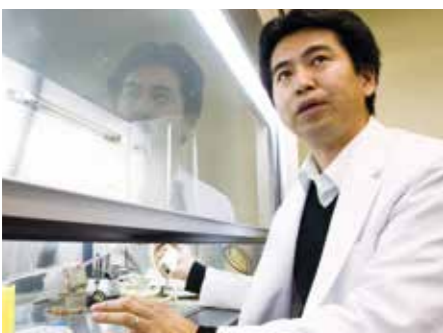
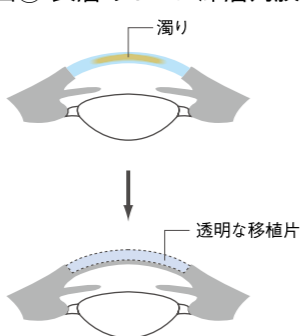
手術方法ですので、今後長い期間をかけての評価も必要です。しかし、大変期待のもてる手術方法ということで、海外などでも急速に広がりを見せています。

文／久保田享  
東北大学アイバンク理事・東北大学助教

図④ 角膜内皮移植 (DSAEK)



図③ 表層あるいは深層角膜移植



# 「アイバンク」は何をするところ？ 「アイバンク」と私たちの関係は？

東北大学アイバンクではどんな活動を行っているのでしょうか。また私たちは何ができるのででしょうか。県民の代表としてフリーアナウンサーの菅原ゆうこさんが、東北大学アイバンクの西田幸二理事長にお話を聞きました。



## 「登録する」「知ってもらおう」が大切

菅原ゆうこさん（以下菅原）／今回、西田先生にお話をうかがうにあたって、友人にアイバンクについて聞いてみたんです。友人は「アイバンクってどこ？」「何をするとこ？」「と聞いてみた。それほどアイバンクは「一般的になじみが薄いように感じます。」

西田幸二理事長（以下西田）／そうですね、広く認識されていないのが現状なら残念です。アイバンクは、亡くなられた方から眼球の角膜部分を提供していただき、光を失った方が待つ病院等にお届けするという大切な役割を持つ機関なのです。

菅原／なるほど。その提供する側にアイバンクへの登録が必要となるわけですね。登録には条件等があるのでしょうか。

西田／一部の方を除き、ほとんどの方が可能です。提供いただいた眼球で使用するのは角膜の部分ですので、近視や乱視の方でも、若い方でも高齢の方でも提供いただけます。ただし感染症関連の症状（※）を伴った方はご提供できません。

菅原／そんなんですか。私たちも知識や理解を深めなければいけませんね。

菅原／再生医療とこれからのアイバンク

菅原／角膜治療のプロフェッショナルである西田先生が、東北大学アイバンクの理事長であることには大きな意味があると思うんです。先生は角膜移植で「世界初」と言われる大きな成果をあげられています。これはどんな技術なのでしょうか。

西田／角膜移植では患者さんに他人の角膜を移植するので、拒絶反応が起こって、再び移植した角膜が濁ってしまうことがあります。拒絶反応をなくすために、患者さんご自身の細胞を用いて移植するんです。これを「再生医療」と言います。眼球の前面を覆っているの

供いただけないことがあります。また、15歳以下の提供については検討させていただいております。

菅原／宮城県では、どのくらいの方が登録しているのでしょうか。

西田／昭和43年の東北大学アイバンク設立から現在までの登録者数の累計は9014人ですが実登録者数は1213人。全国各地にあるアイバンクの中でも、宮城県はとてもの少ないです。

菅原／西田先生が3年前に東北大学アイバンクの理事長に就任されてから、新聞やテレビなどでアイバンクへの登録を呼びかけていますね。その効果で少しずつ登録者が増えていくとお聞きしました。

西田／アイバンクの活動は、とにかく地道に進める、これしかないと思うんです。実際に角膜移植を受けられた方々で構成する友の会設立の準備も進んでおりますし、ライオンスクラブをはじめ地域のボランティア団体の方々からもご協力をいただいております。こ

が角膜。目の病気には、この角膜に関わるものが多いです。角膜の上にはさらに上皮と呼ばれる皮膚のようなものがあって、バリアの機能を果たしています。これがなくなると、細菌などが入ってしまい、視力を失うことになりやすいです。ですから再生医療では、患者さんの口の粘膜を使用して、上皮の代わりになるものを作り出すのです。

菅原／その再生医療というのは、どんな病気にも適応できるのでしょうか。

西田／現在、さまざまな病気に再生医療が用いられます。と試みられています。角膜で言うと、上皮の病気は現在の治療では根治させるのが難しいので、再生医療に頼ることもあります。ある方が「再生医療があるならアイバンクはいらないのでは」とおっしゃいました。現在の角膜移植で治療可能な病気は多数あります。一方、上皮の病気などは現在の角膜移植では治療が困難な病気があり、その方たちのために再生医療が用いられます。つまり、ほとんどの角膜の病気の患者さんはアイバンクを用いた角膜移植の適応であり、再生医療が発展したとしても、アイバンクの重要性は変わりません。

菅原／東北大学アイバンクでは提供から手術まで迅速に進めるため、ホットラインを設置して24時間対応しているんですね。

西田／そうです。いつでもお電話をいただき、ご提供いただけるように24時間体制で対応しています。ホットラインの対応人数を



西田幸二理事長  
財団法人東北大学アイバンク理事長・東北大学眼科教授  
大阪府生まれ。大阪大学医学部卒業後、大阪厚生年金病院、京都府立医科大学、アリカンク研究所、大阪大学を経て、2009年、東北大学教授に就任。「再生医療や登録者ご家族への説明が円滑になるよう、宮城県にアイバンクセンターを設置し、アイバンクのシステムをもっと広めたい」と思っています。

菅原ゆうこ氏  
フリーアナウンサー  
宮城県生まれ。山形テレビのアナウンサーを経て独立。現在は仙台市を拠点にテレビやラジオに出演。CMやテレビショッピングの司会など、幅広く活躍中。アイバンクを広く知ってもらうためには、健康保険証や運転免許証など、私たちが必ず持っているものに、提供の意思確認を記載してほしいと思っています。

ういった皆さんと一緒に情報を発信して、アイバンクの活動を盛り上げていきたいです。

菅原／登録するのはもちろん大事なことです。提供されるのは登録者本人が亡くなるまで。つまり、アイバンクに提供のご連絡をするのは、登録者本人ではありません。そうなりますと登録していることを家族に知ってもらうことが大切です。

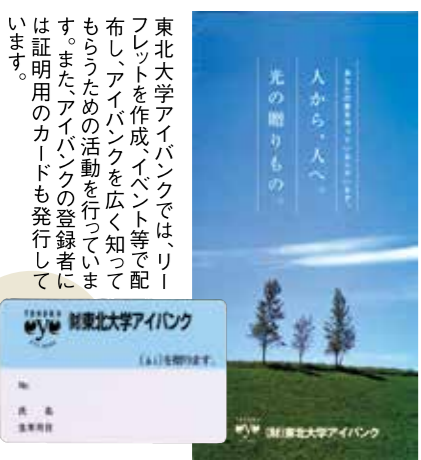
西田／おっしゃる通りです。登録も大切ですが、登録者が増えても、ご家族の同意が得られなければ提供にはなりません。登録しているのに提供だけできないという事態を引き起こすのは、ご家族が登録している事実を知らないケースが多いです。ですから、ご家族の

増やしてもっとたくさん広報活動も展開していきたいのですが、カードやリーフレットを作るにも資金が必要です。その資金は皆さんの善意に頼るところが大きいので、個人のみならず企業にもご協力を呼びかけたいと思っています。

菅原／どんなに小さな活動でも、継続することには大きな意義があるのでしよう。私も友人にアイバンクを知ってもらい、協力を得るための活動をしたと思います。最後に、これからのアイバンクの在り方を、西田先生はどう思い描いていますか。

西田／やはり我々の情報発信がなければ、皆さんにも理解もしていただけません。とにかく知っていただき、登録者を増やすことが一番です。また、日本全体、さらに世界中のアイバンクが連携できるシステムの構築も重要だと感じています。

菅原／お話をうかがって、アイバンクのことがよく分かりました。登録や家族との話し合い、アイバンクを広めるにはどうすればいいのかわかりませんが、私もお手伝いしたいと思います。本日はありがとうございました。



東北大学アイバンクでは、リーフレットを作成、イベント等で配布し、アイバンクを広く知ってもらうための活動を行っています。また、アイバンクの登録者は証明用のカードも発行しています。



# 私に光をくれた方へ。 何があっても、 この目だけは守ります。

NPO法人の理事として多忙な毎日を送る青木恵一さん(仙台市)は、今年3月、東北大学アイバンクを通じて光を得た「角膜移植体験者」の一人です。光のたらない世界での苦しみ、光とともに暮らす今、そしてアイバンクへの想いを語ってくれました。

**私**の場合、視力が低下したわけではなく、もともとマイナスの状態だったんです。角膜の病気で、例えるなら磨りガラス越しにも見える状態。生まれてからずっとです。戦後の混沌とした時代に育ち、現在のよう治療を受けられなかったのが原因なのかもしれません。物心がついた頃には「ああ、こういうことか」と自分にハンディキヤップがあることを知りました。

目が不自由だったことで、寂しい、悲しい、悔しい思いばかりしてきました。学校では黒板の文字が見えない。問題が分かれれば答えられるのに、その問題が読めないから答えられないのです。当時は恥ずかしい気持ちがあつて、前の席に座りたいとは言えませんでした。中学、高校と野球部に所属しましたが、夕方になるとボールが見えない。レギュラーになれず途中退部を余儀なくされました。負けたくない気持ちが強くて、さまままチャレンジしましたが、思う通りにできないことが多かつたんです。

**ア**イバンクのこと、角膜手術のことは知っていましたが、私には関係のない世界だと思っていました。ですが、定期健診を受けた際、先生が「青木さんの目は、今は手術で治るんで

すよ、紹介状を書きましょう」とおっしゃったのです。手術を待っている患者さんたちは多く、競争率も高い、そういうお話を耳にしたことがあつて、まさか自分が手術を受けられるなんて、そして目が治るだなんて、夢にも思いませんでした。手術前はもちろん不安もありましたけれど、すべてを先生に委ね、真っ白な気持ちで手術に臨みました。これまでほうほうとしか見えなかったものが、手術によってクリアになったんです。ですから毎日が発見と感動の連続。ニンジンはこの赤かったのか、卵焼きはこんなに黄色かつたんだ。新聞の文字はこれほど黒々としていたのか、と。皆さんにとっては当たり前のことなのでしょうが、私にとっては初めての体験なのです。

**献**眼してくださった方には、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。手術を受ける前まではもうそろそろ、死んでもいい時期かな



あと考える目があつたんです。ですが、今、私は死ぬわけにはいかない、この目だけは何かあつても守らなければいけないと思うようになりました。献眼者のためにも、中途半端なことはできない、この命は私一人だけの命ではないんだと、使命感のような気持ちを抱いています。このような日々を送られるのは、やはりアイバンクがあつたからこそ。アイバンクがなければ私は光を得ることはできませんでした。

私は角膜移植の体験者です。アイバンクの実情、必要性をお知らせできる立場にあります。私の声によつて登録してみようと思う方が必ずいらっしゃるはずだと信じています。

**今**、自動車の運転免許を取得しようと考えているんです。これは長年の夢でしたが、もう夢ではありません。免許証がないために、就職してから苦労したことがたくさんありました。免許を取れば、日常生活だけでなく、アイバンクの啓蒙活動ができる範囲も広がるはずですから、とても楽しみにしています。

TOPCON CONNECTING VISIONS

新時代のパターンスキャンレーザ登場。

PASCAL SLIM LINE PHOTOCOAGULATOR

短時間に複数のレーザスポット照射!!

株式会社 トプコンメディカルジャパン

本社 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1 TEL.(03)5915-1800  
営業本部 TEL.(03)5915-1803 仙台営業所 TEL.(022)261-4460

明日への地域医療・高度医療に貢献する

一信頼される技術とサービスを人へ社会へ地域へ

ライフテクノロジーを追求する

株式会社 シバタインテック

本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町二丁目11-3  
TEL 022(236)2311 (代表) FAX 022(236)2362

山形支店・庄内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ヘルスケアセンター・物流センター・メンテナンスセンター

ホームページ: www.shibataintech.co.jp

眼科用医療機器・器具

コンタクトレンズ・眼内レンズ

視覚障がい者用福祉機器

(日常生活用具・補装具)

TRUST Since 1992

株式会社 トラストメディカル

http://www.trust-medical.co.jp

【山形営業所】 山形県 宮城県

【福島営業所】 福島県

【仙台本社】 〒989-3204 仙台市青葉区南吉成6-2-2  
TEL: 022-277-2522 FAX: 022-277-2510

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

Otsuka 大塚製薬株式会社

東京都千代田区神田司町2-9

# 第8回東北大学アイバンク慰霊祭

さる平成20年10月15日に、仙台市青葉区星陵町の長陵会館において、アイバンク慰霊祭がとりおこなわれました。

ここにその模様をご報告させていただくとともに、慰霊祭にご寄付を賜りました企業・団体・個人の方、また献眼いただきました故人の方々のお名前を掲載させていただきます。

アイバンク慰霊祭は5年に1度開催されて

おり、今回で8回目になります。今回は献眼者御遺族の方6名、受眼者の方とその御家族46名、来賓の方17名の御列席を賜り、東北大学アイバンク理事・評議員12名、その他スタッフも含め、総勢96名の参列となりました。

大変厳粛な雰囲気の中、はじめに全員で献眼者の方々への黙祷を行いました。その後東北大学アイバンクの西田幸二理事長と宮城県眼科医学会の奥山茂美会長より、それぞれ献眼者の方々への追悼の言葉と、今後より一層のアイバンク活動の推進への誓いの言葉が述べられました。

続いて献眼者の御遺族を代表して浅野孝子様、受眼者を代表して青木恵様より御挨拶を賜り、浅野様の家族愛、社会への愛に満ちたエピソードに、会場には感動の涙が溢れておりました。また、青木様はアイバンク活動にご自身が積極的に関わっていき、多くの方々がご自身と同じように光を取り戻せるようにしていかなければならないと、今後の決意を語られ、会場に、強い意志に満ちた希望

の光を灯されました。

その後、御遺族代表の浅野孝子様、これまでのアイバンク活動に御協力を賜った佐藤や孝子様、キャビネット事務局、ライオンズクラブ、宮城県眼科医学会、玉井信前東北大学アイバンク理事長に感謝状が贈呈され、最後に全員で献花を行なうて会は終了しました。

文／横倉俊一

東北大学アイバンク理事・東北大学助教



## 慰霊祭にご寄付いただいた企業・団体・個人

(敬称略 寄付日順)

- 宮城県眼科医学会
- 仙台エコーライオンズクラブ
- (株) トラストメディアカル
- 吉田みち子
- (社) 日本眼鏡技術者協会宮城支部
- (社) 仙台市医師会
- 相澤博彦
- (株) メガネの相沢
- 参天製薬(株)
- 学校法人 菅原学園
- 宮城県医師会
- エイエムオーシヤパン(株)
- ライオンズクラブ国際協会3321-C地区
- 今井克彦
- 大滝正子
- 森 秀行
- 下山正信
- 伊賀雅博
- 小沼シゲ子
- 佐藤やえ子
- 郷家ふぢよ
- ノバルティスファーマ(株)
- 日本アルコン(株)
- 大塚製薬(株)

## 第8回財団法人東北大学アイバンク慰霊祭 献眼者のご尊名

(平成15年4月1日～平成20年9月30日)

故人の尊い御遺志と、御家族をはじめ関係者みなさまの御理解と御協力のおかげで角膜の障害に苦しまれていたたくさんの方々が、光を取り戻すことができました。謹んで故人の御冥福をお祈り申し上げます。

- 平成15年度
    - 黒澤 節子 様
    - 他男性2名
    - 女性3名
  - 平成16年度
    - 中村 完 様
    - 渡辺 悦子 様
    - 他男性2名
    - 女性2名
  - 平成17年度
    - 斎藤 庄弥 様
    - 及川 匡弘 様
    - 飯野 陽介 様
    - 他男性1名
  - 平成18年度
    - 軍司 芳郎 様
    - 遠藤 勝雄 様
    - 菅原 一騎 様
    - 鈴木 和郎 様
    - 他男性1名
    - 女性2名
  - 平成19年度
    - 木幡 清 様
    - 金島 寧福 様
    - 近江 裕子 様
    - 他女性2名
  - 平成20年度
    - 本間 雅夫 様
    - 他男性5名
    - 女性2名
- 御献眼いただきましたのちに、御遺族に対しましては、厚生労働大臣より感謝状が贈呈され、お届けいたしております。

## 御遺族の御挨拶

第8回東北大学アイバンク慰霊祭では、御遺族を代表して浅野孝子様より御挨拶を賜りました。ここに浅野様の御挨拶文をご紹介します。

浅野様のお父様は、本年4月に永眠され、御生前より東北大学アイバンクに角膜提供希望者として御登録いただいております。

その御意志に基づき、東北大学アイバンクへ2眼の眼球を御提供いただき、2名の患者様の視力を回復させることができました。

本日はアイバンク創立40周年おめでとうございます。

父は、腸間膜動脈閉塞のため44日間の入院と3度の手術の末、ついに力尽きて、今年4月24日81歳で亡くなりました。

生前から方がの時には主治医の先生に見せるようにとアイバンクの登録カードを母に託しておりました。主治医の先生にこのカードのことはお話しすると先生はアイバンクにすぐ連絡を取って下さいました。また、眼球の摘出手術に備えて集中治療室をそのまま提供して下さいました。大病院からお二人の先生、アイバンクの中村さんが程なく到着され、適合するかどうかの検査をして下さっている間、私たち家族は、父が高齢だったこともあり、とても不安でしたが、「角膜には何の支障もありません、早速手術させていただきます」という言葉にほっと安堵いたしました。

平成4年にアイバンクに登録していた父の意志を尊重し、お役に立てましたことを父

も心から喜んでおられることと思います。父のこの確固たる意志は、娘である私が進行性の円錐角膜と診断を受けた1984年の冬、提供していただいた角膜によって移植手術が成功したそのとき、すでに固まっていたと思っております。わたくしが角膜をいただいて父がいつかその恩返しをしたいという気持ちからだったのでしよう。私自身もいただいた角膜を大切に、感謝の気持ちを忘れずしっかりと生きていこうと思います。

最後になりましたがアイバンクの一層のご発展を祈念して遺族代表の言葉といたします。

遺族代表 浅野孝子



東北大学アイバンクは、今年度設立40周年を迎えました。平成19年度より募集を開始いたしました。一般協力会員の数も徐々に増え、さらには今年度は、5年に1度開催される、東北大学アイバンク慰霊祭が行われ、多くのみなさまより寄付をいただきました。

このことから、アイバンク事業に対する重要性と、移植医療に対する期待の大きさを切実に感じております。しかしながら、献眼数はいまだ県内の需用を満たすほどには至っていません。献眼数を増やし、ひとりでも多くの方に光を取り戻していただくことが東北大学アイバンクの最大の使命です。このため、次のような取り組みを本年度の事業計画として実施しております。

① 献眼登録者に確実に

献眼していただくための啓発活動  
東北大学アイバンクの献眼登録者は累計で9014名ですが、昨年あらためて確認作業をしたところ、実登録者は1213名になりました。今後、実登録者数を増やしていくことが課題ですが、現在深刻な問題となっているのは、実際に献眼登録者から献眼に結びつく例が少なくなっていることです。

登録者に確実に献眼していただくためには、登録者本人だけではなく家族・医療従事者に、献眼への協力をしていただくことがとても重要であると考えています。

このためには、学校あるいは地域コミュニティにおいて、アイバンク活動を周知すること、病院や地域医療、在宅医療などで働く医療従事者にアイバンク活動と献眼の意義について理解していただき、献眼に向けての体制を整えることが何よりも必要であると実感しています。

② 献眼に対するシステム強化と

コーディネーターの養成  
東北大学アイバンクは、24時間対応ホットラインを設置し、献眼等のご連絡に対応しております。

献眼のご連絡があった時に、献眼をスムーズに進め無事に提供いただくことや、登録はしていなかったものの献眼の意思表示をいただいた場合などに、本人・家族に不安を抱かせることなく、提供いただくことはとても大事なことです。これらの献眼前後の様々な情報を収集し、実際の角膜採取の介助・ご遺族のフォローなどを行うのが、アイバンクコーディネーターの仕事です。今後さらにホットラインシステムを強化し、安心してご提供いただけるようコーディネーターのレベルアップに努めていきます。

③ 会報「東北大学アイバンクだより」の発行

東北大学アイバンクでは、今年度より「東北大学アイバンクだより」(年一回)を発行することになりました。

これはご支援いただいております病院、眼科医院、団体、企業及び協力会員、さらに献眼登録者、そして移植を受けられたみなさまへお送りいたします。

この会報により、宮城県におけるアイバンク活動の現状を知っていただくことや、最新の角膜移植医療についての情報を提供していくことで、角膜移植に関する啓発を促し、誰もが安心して移植手術を受けていただけるような地域づくりを、県民のみなさまと共に考えていくことを目指しています。

④ 運営の合理化と財政基盤の強化

東北大学アイバンクの運営は、寄付金及び協力会員の年会費によって賄われています。これら

の浄財を最大限に活用し、運営の一層の合理化を検討しております。

また、アイバンクの唯一の業務収入である角膜移植手数料の増収に向けて、努力していきたいと考えています。

\*今年度より東北大学アイバンクにおきましても税法上の優遇措置が受けられるよう体制を整えました。お問い合わせは、東北大学アイバンクまでお願いいたします。

文／中村幸江  
東北大学アイバンクコーディネーター

平成19年度 事業報告

1.登録者・献眼者・角膜移植者・待機患者

年度	献眼登録者累計	実登録者*1	献眼者	角膜移植者	待機患者*2
平成20年度	74	72	8	11	108
平成19年度	83	81	5	12	74
平成18年度	23	23	7	22	82
平成17年度	17	9	4	11	95
平成16年度	34	8	6	20	87
平成15年度	29	12	6	19	94
平成14年度	28	13	6	11	124
平成13年度	36	10	14	22	121
平成12年度	36	14	0	7	173
平成11年度	61	12	13	20	165
昭和43年~平成10年度	8,593	959	356	631	158
合計	9,014	1,213	425	786	

\*1/平成19年度に実施した確認作業後の登録者数。  
\*2/東北大学病院眼科における待機患者数。  
\*3/平成20年度に関しては、平成20年12月10日現在のもの。

2.全国統計\*4

	登録者数	献眼者数	摘出眼球数	利用眼球数	平成19年度献眼者
全国アイバンク	1,405,387	32,549	59,919	49,712	995
東北大学アイバンク	8,940	417	817	708	5

\*4/このデータは、平成20年度3月31日現在の累計。

平成19年度 活動報告

- ◆は場所
- 5月11日●第37回北海道・東北地区広域活動連絡会出席 ◆岩手県盛岡市
  - 5月15日●東北大学移植医療部講演会参加 ◆東北大学医学部
  - 5月30日●(財)東北大学アイバンク理事会開催  
●(財)東北大学アイバンク評議員会開催 ◆東北大学医学部良陵会館
  - 6月13日●臓器移植普及推進キャンペーン参加 ◆フルキャストスタジアム宮城(現クリネックススタジアム宮城)
  - 7月 6日●第7回宮城県院内コーディネーター研修会参加 ◆宮城県庁
  - 7月 7日●親子のふれあいコンサート参加 ◆太白区文化センター
  - 7月27日●第38回北海道・東北地区広域活動連絡会出席  
●第30回全国アイバンク連絡協議会出席 ◆東京
  - 8月 5日●命のつどいチャリティーコンサート参加 ◆宮城県民会館
  - 8月23日●第413回市民医学講座講演 ◆仙台市急患センター  
「加齢性の眼の病気と最新の治療について」  
「アイバンクについて」
  - 8月24日~25日  
●東北大学100周年記念まつり参加 ◆東北大学片平キャンパス
  - 9月 1日●仙台市医師会発行「仙台医師会報」掲載  
「東北大学アイバンクのご紹介とご協力をお願いします」
  - 9月15日~9月17日●目で見る眼のすべて展参加 ◆仙台三越



- ◆は場所
- 9月19日●ケーブルテレビ『キャベツ』『スキダッちゃ!!』出演  
「アイバンクについて」
  - 9月21日●ケーブルテレビ『キャベツ』『家庭の医学』出演  
「眼の病気とアイバンク」
  - 9月30日●東北大学発行「まなびの杜No.41」掲載  
「眼科における再生医療一目の表面の新しい治療法」
  - 9月30日●臓器移植普及推進キャンペーン参加 ◆陸上自衛隊霞目駐屯地
  - 12月19日●(財)東北大学アイバンク理事会開催  
●(財)東北大学アイバンク評議員会開催 ◆東北大学病院

平成20年

- 1月17日●第8回宮城県院内コーディネーター研修会参加 ◆宮城県庁
- 2月 1日●仙台市医師会発行「健康だよりNo.93」掲載  
「角膜移植とアイバンクの活動」
- 2月13日●東北大学移植医療部講演会参加 ◆東北大学医学部
- 2月19日●第3回キャビネット会議支援金目録贈呈式出席 ◆ホテル  
グランドパレス塩釜
- 3月 7日●第9回宮城県院内コーディネーター研修会参加 ◆宮城県  
自治会館
- 3月25日●臨時(財)東北大学アイバンク理事会開催  
●臨時(財)東北大学アイバンク評議員会開催 ◆東北大学医学部  
眼科医局
- 3月28日●ライオンズクラブ3バンク委員会出席 ◆キャビネット事務局
- 3月31日●河北新聞朝刊「東北大学アイバンク40周年」企画掲載

平成19年度 財務報告

1.平成19年度運用財産収支決算

収入の部			支出の部		
科目	金額(円)	摘要	科目	金額(円)	摘要
基本財産運用収入	55,169	基本財産利息	事業費	2,539,123	登録普及費 2,259,437円 幹旋事業費 232,786円 アイバンク協会費 46,900円
寄付金収入	1,300,000	ライオンズクラブ他	管理費	3,954,740	人件費 3,249,281円 通信運搬費 90,845円 旅費交通費 212,880円 事務用品費 138,024円 その他 263,710円
協力会員会費収入	3,618,000	協力企業/団体23件 協力医院/病院100件 協力会員(個人)103件	基本財産戻入準備金	400,000	
角膜幹旋手数料	1,000,000	10眼×100,000円	予備費	0	
補助金収入	86,705	日本アイバンク協会	繰越金	5,343,461	平成20年度へ繰越
雑収入	9,970	運用財産利息	合計	12,237,324	
繰越金	6,167,480	平成18年度より繰越			
合計	12,237,324				

2.平成19年度財産目録

資産の部		負債の部	
	金額(円)		金額(円)
現金預金	5,392,373	預り金・未払金	48,912
棚卸品	219,822	負債合計	48,912
基本財産	28,000,000		
固定資産	376,810		
資産合計	33,989,005	正味財産	33,940,093



平成19年  
平成20年 寄付者御芳名・協力会員

(敬称略 順不同)

〜平成19年4月から平成20年11月末日までの間に「ご寄付いただきましたみなさま」ご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。御納入いただきました寄付・会費は、東北大学アイバンクの活動に有効につかわせていただいております。

寄付者御芳名

- ◆武田 忠雄 (眼科医) 二〇〇〇〇〇円
◆桑島治三郎 (眼科医) 一〇〇〇〇〇円
◆中島 睦子 一〇〇〇〇〇円
◆佐藤 勝彦 一五〇〇〇〇円
◆気仙沼市立病院 三〇〇〇〇〇円
◆ライオンズクラブ国際協会332-C地区 七〇〇〇〇〇円
◆仙台エコライオンズクラブ 三〇〇〇〇〇円

協力会員

仙台市内協力病院

- 青葉区
阿部眼科診療所
今井眼科医院
大橋眼科医院
おくやまアイクリニック
小田眼科医院
鬼怒川眼科医院
木村眼科医院
小林眼科医院
佐藤眼科医院
佐藤裕也眼科医院
さど眼科
田中眼科クリニック
馬場眼科
平成眼科病院
みやもと眼科クリニック
むとう眼科医院
山本眼科医院
米地眼科医院
渡辺眼科医院
●宮城野区
岩切中央眼科
神尾眼科
仙台駅東口大槻眼科
タカジン眼科
みやぎの眼科
●若林区
佐瀬眼科医院
前川眼科
矢端眼科医院
わかばやし眼科
●太白区
NECトーキン(株)診療所
志賀眼科
仙台市生出診療所眼科
高瀬眼科医院
徳永眼科医院
西多賀眼科医院
長谷川眼科医院
●泉区
いずみクリニック

仙台市外協力病院

- 仙南エリア
浅野眼科医院
いのまた眼科
大槻眼科医院
大沼眼科医院
水戸眼科医院
八木沼眼科クリニック
油井眼科医院
●名取・岩沼・塩釜エリア
浅野みつや眼科医院
板橋眼科医院
氏家眼科医院
かとう眼科医院
●栗原・登米エリア
あさの眼科医院
ごとう眼科
みうら眼科医院
三浦眼科医院
●石巻エリア
大街道もり眼科医院
小室眼科医院
佐久間眼科小児科医院
菅原眼科医院
田中眼科
ものう眼科クリニック
●気仙沼エリア
小林直樹眼科
武田眼科医院

仙台市内協力病院

- 青葉区
JR仙台病院
仙台厚生病院
仙台社会保険病院
仙台通信病院
東北公済病院
東北公済病院
東北公済病院
東北公済病院
●宮城野区
仙台医療センター
仙台東脳神経外科病院
東北公済病院 宮城野分院
東北厚生年金病院
中嶋病院
●若林区
N T T 東日本東北病院
仙台市立病院
●太白区
広南病院
仙台赤十字病院
●泉区
仙台徳洲会病院
●仙台市外協力病院
公立刈田総合病院
みやぎ県南中核病院
●名取・塩釜エリア
公立黒川病院

仙台市外協力病院

- 県外
清宮眼科医院(福島県)
山田眼科医院(秋田県)
坂総合病院
塩竈市立病院
仙塩総合病院
松島病院
宮城県立がんセンター
●大崎エリア
永仁会病院
大崎市民病院
大崎市民病院岩出山分院
大崎市民病院鳴子分院
涌谷町国民健康保険病院
●栗原・登米エリア
栗原市立栗駒病院
栗原市立佐沼病院
登米市立佐沼病院
●石巻エリア
石巻市立病院
石巻赤十字病院
女川町病院
仙石病院
●気仙沼エリア
気仙沼市立病院
公立志津川病院
●県外
公立相馬総合病院(福島県)
山形市立病院済生館(山形県)

(五十音順)

協力企業 協力団体

- ◆宮城トヨタ自動車(株)
◆株メカネの相沢
◆社)日本眼鏡技術者協会
◆宮城支部
◆学校法人 菅原学園
◆財)宮城県対がん協会
◆東北電力(株)総務部
◆栗原若柳ライオンズクラブ
◆株トラストメディアカル
◆株セルシード
◆株)日本点眼薬研究所
◆株)日本眼科医療センター
◆株)トフコンメディアカルジャパン
◆H O Y A 株)メディアカル事業部
◆東北営業所
◆エイエムオーシジャン(株)
◆株)日本眼科医療センター
◆参天製薬(株)仙台医療チーム
◆カールツァイスメディテック(株)
◆仙台営業所
◆日本アルコン(株)仙台支店
◆ノバルティスファーマ(株)
◆眼科事業部
◆ファイザー(株)
◆興和創業(株)仙台学術課
◆わかもと製薬(株)
◆仙台営業所
◆万有製薬(株)東北支店
◆株)シバインテック
◆株)日立プラントテクノロジー
◆大塚製薬(株)

協力会員(個人)

(敬称略 順不同)

- 森 幸子 三瓶 清 嘉数 耕一 高橋 耕一
及川 京子 三瓶 春美 山口 徳子 阿部 純子
並木 恒夫 三瓶 千絵 鹿野 壽悦 佐藤 明子
佐藤 義明 菅原 裕子 山本 峰聖 大橋 香澄
阿部 昭夫 菅原 一浩 小東 貴 大橋 理恵
武田 忠雄 小山 厚子 後藤 政志 佐々木 秀治
伊藤 規雄 佐藤 咲良 松浦 義人 佐藤 昭男
富士原 明美 荒井 一雄 栗田 政也 佐藤 正見
藤谷 廣司 金子 祐一 新田 恒子 羽田 悦子 佐藤 京子
成毛 祥代 成毛 令子 青木 恵一 石田 滋子 小沼 シゲ子
成毛 基明 高橋 基明 石垣 るり子 小笠原喜美子 江村 政紀
手代木 禎子 曾根 美代子 龜谷 恵美子 高野 茂夫
堀木 静香 丹野 輝英 笠原 ハマ子 野田 百合子
千葉 直美 白澤 徹 笠原 康弘 原 信夫
小松 国枝 森 巖 森澤 舞 水戸 輝男
上西 則子 菅原 育子 小山 敏子 八文字 惣一
遠藤 律子 本宮 恵樹 八文字 積子 石山 敬子
西條 和夫 永浦 富士夫 八文字 積子 角田 淳一
尾形 なる子 和泉 信雄 遠藤 敏 黒沢 健一
北田 大宜 三戸部 孝治 大村 守 及川 榮久
戸田 俊博 武山 利子 加茂 ミエ 星 毅
堀井 禮子 安藤 厚子 村上 恵久子 阿部 保男
寺田 勝 石井 里美 五十嵐 明文 佐藤 英美子 小林 慶子
石井 里美 齋藤 裕 浅井 千代子 浅井 千代子 庄司 つとせ
瀬ノ上 好子 佐々木みつ子 山崎 秀子 菅原 みさを
遊佐 昌子 齋藤 裕 浅井 千代子 佐々木あおい
宮田 操子 金子 弘志 遠藤 誠 東瀬 寿美子
阿部 吉男 鈴木 昭子 大場 直美 鈴木 巖
加藤 俊和 佐藤 弘 太齋 重雄 太田 忠則
佐々木 正美 佐々木れい子 加藤 美智子
後藤 清 扇 要仁 加藤 静子

ほか一二名 計二六五名

財団法人東北大学アイバンク

顧問・理事及び評議員

平成20年4月1日現在

【顧問】

- 村井 嘉浩 宮城県知事
梅原 克彦 仙台市長
一力 一夫 (株)河北新報社 取締役会長
務台 猛雄 (株)宮城テレビ放送 代表取締役社長
高橋 宏明 東北電力(株) 代表取締役社長
鎌田 宏 (株)七十七銀行 代表取締役頭取
玉井 信 仙台市病院事業管理者
井上 明久 東北大学 総長

【理事】

- 西田 幸二 理事長・東北大学眼科 教授
中山 鋼 宮城県保健福祉部医療健康局長
上田 昌孝 仙台市健康福祉局局長
伊東 潤造 宮城県医師会会長
山田 明之 仙台市医師会会長
奥山 茂美 宮城県眼科医会会長
相澤 博彦 (株)メカネの相沢 取締役社長
菅原 博 学校法人菅原学園 理事長
馬場 武雄 (株)ピーエス テクノ 取締役会長
渡部 市郎 (有)わたなべ会計

【施設】

- 昇男 東北大学眼科 准教授
中澤 徹 東北大学眼科
横倉 俊二 東北大学眼科
久保田 享 東北大学眼科


【監事】

- 佐藤 裕也 佐藤裕也眼科医院
志賀 信夫 志賀眼科

【評議員】

- 中沢 幸男 前宮城県議会議員
久道 茂 宮城県対がん協会会長
三浦 幸雄 東北労災病院院長
上田 昌夫 東北公済病院院長
松井 邦昭 JR仙台病院院長
菊地 秀 仙台医療センター院長
遠藤 一靖 仙台市立病院院長
桃野 哲 仙台赤十字病院院長
岡崎 肇 公立刈田総合病院院長
内藤 広郎 みやぎ県南中核病院院長
今田 隆一 坂総合病院院長

(敬称略 順不同)



プロスタグランジンF<sub>2α</sub>誘導体  
緑内障・高眼圧症治療剤 指定医薬品、処方せん医薬品<sup>®</sup>


# キサラン<sup>®</sup>点眼液

一般名：ラタノプロスト 薬価基準収載  
注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

「効能・効果」「用法・用量」「用法・用量に関連する使用上の注意」「禁忌を含む使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売 **ファイザー株式会社**  
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7  
資料請求先：製品情報センター

2008年11月作成



参天製薬は、眼科とリウマチ/骨・関節疾患領域に特化した独自性ある医薬品企業として、人々の目とからだの健康維持・増進に貢献しています。

ひと・ひとみ・すこやか。  
**参天製薬株式会社**  
本社 大阪市東淀川区下新庄3丁目9番19号  
TEL 06(6321)7000  
http://www.santen.co.jp/

JS08K65X185\_C

## 世界初! 色覚補助レンズ カラービュー仙台ステーション 本館2F

「カラービュー」は最高品質の見えごちを追求した、世界初の色識別補助用プラスチックレンズです。

「専任スタッフ」によるカウンセリングを行いますので、お電話にてご来店日時をご予約承っております。カラービュー仙台ステーションは、東北各県の皆様からご愛顧いただいております。

ご予約電話番号 ▶ **TEL.022-262-0581**

信頼 & 安心

**メガネの相沢 本館** 仙台駅前・南町通り[仙台市青葉区中央3-8-31]  
TEL.022-262-0581 営業時間 10:00~20:00 契約駐車場完備

うれしいNEWS  
ロービジョンコーナーも完備!  
メガネを掛けても見えにくい方のために、拡大読書器をはじめ、たくさん関連商品を取り揃えております。

## 角膜再生の研究・実験等に必要な施設を提供致します。

HITACHI Inspire the Next

ユニット型細胞培養調製室  
**セルメディカルキューブ**

■特長  
・既存建物内に容易に設置可能  
・部屋数やレイアウトを自由設計可能  
・治験薬GMP<sup>®</sup>への対応可能  
・温湿度、清浄度、室圧制御機能を備えた、オールインワンユニット

※ Good Manufacturing Practice: 医薬品適正製造基準

株式会社日立プラントテクノロジー 東北支社 〒980-6008 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 Tel:022-263-3261  
空調システム事業本部 〒170-8466 東京都豊島区東池袋4-5-2 Tel:03-5928-8574

## あなたもアイバンクの寄付にご協力をお願いします。

財団法人東北大学アイバンクでは、年会費1口1,000円の協会員を随時募集しております。  
添付の「振込取扱票」にて最寄りの郵便局よりお振込みください。  
匿名希望の方以外の会員名を「東北大学アイバンクだより」及び「東北大学医学部眼科学教室」のホームページに掲載させていただきます。  
詳しくは下記の24時間ホットラインまでおたずねください。  
あたたかいご協力をお待ちしております。

年会費/1口**1,000円**

TOHOKU eye EYE BANK 東北大学アイバンク  
24時間ホットライン **022-728-3677** 24時間夜間休日でもOK!  
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学医学部眼科学教室

## 「ピギーちゃん募金」のご協力をお願いいたします。

宮城県眼科医会と東北大学アイバンクでは、参天製薬様のご協力のもと「ピギーちゃん募金」を開始いたします。  
県民の皆様がアイバンクの活動を広くご理解いただくことを目的に、募金箱とポスターを制作し、アイバンク協力医院へ配布・設置していただくことになりました。  
目印は子豚の「ピギーちゃん」です。お見かけの際はぜひ募金のご協力をお願いいたします。

愛と光を!  
角膜移植にご支援をお願いいたします  
**ピギーちゃん募金**  
宮城県眼科医会  
東北大学アイバンク

～「アイ愛」編集後記～

東北大学アイバンク会報である「東北大学アイバンクだより」の第一号が完成しました。アイバンク理事長の西田教授の対談に始まり、5年に一度開催されるアイバンク慰霊祭の様子、アイバンクの活動状況、角膜移植における最近のトピックの紹介など充実した内容となっております。

眼球提供登録者が少しずつ増加しているのに、実際の移植に繋がっていないことを考えるとアイバンクの仕事の重要性が再認識されます。しかし登録者が死というもっとも悲しい状況に際したときに、冷静に眼球提供の話家族から申し出いただけることも現実的には難しい状況もあります。ただ、自分の眼球がヒトの役に立ち生き続けるということに意味を感じて眼球提供登録をしていただいた提供者本人の意志もまた尊重することが重要であると考えて次第です。

アイバンク設立から何十年も経っておりますが、その難しさは時代を超えて普遍的なものであります。一人でも多くのヒトに光の贈り物ができるようにアイバンクスタッフ一同今後も頑張っていく所存です。サポートを宜しく願い申し上げます。

東北大学アイバンク理事 東北大学眼科講師 中澤 徹

## 視覚は私たちの未来です。 Vision is Our Future.

目薬といえば誰もが思い浮かべる、一押しで正確な量の薬が点眼できるプラスチック製の点眼薬ボトルは、米国アルコン本社が50年前に開発したものです。

日本アルコンは、世界180以上の地域に眼科製品を提供するアルコン・インコーポレーテッドの日本法人として、35年以上にわたり日本の医療現場に、革新的で高品質な眼科用医薬品、眼科用サージカル製品、コンタクトレンズケア用品をお届けしています。

私たちが眼を通して得る世界が美しく、かけがえのないものだからこそ、視力の低下を抑え、すこやかに視る力を守りたい。見る、見える幸福を支えていきたい。

日本アルコンはトータル・アイケア・カンパニーとして、一人ひとりの大切な眼の健康のために活動していきます。

Alcon www.alcon.co.jp 日本アルコン株式会社  
東京都港区赤坂2丁目17-7 赤坂運送タワー